

第1学年 A 組

1年A組担任

1 学年経営目標(3年間を見通した指導を行う)

- ・生徒同士、教員と生徒との関係づくりを第一に考え、一から集団づくりを行っていく心構えで学年・学級経営にあたっていく。
- ・学年職員全員が同じ想いをもち、それぞれの立場を生かして「チーム」として教育活動に 当たる体制作りをする。
- ・小集団活動を通して一人ひとりが輝く仕組みを作り、大集団が一丸となって動く体制を作る。
- ・保護者や地域との連携を密にして相互理解を深め、効果的な教育活動を展開する。

2 学年目標

「共生 ～正直・認め合い～」

- ①正直に自分の気持ちや考えを発することができる集団になろう。
- ②自分自身を理解し、相手を理解し、互いを受け入れ、認め合える集団になろう。
- ③行事や係活動などに積極的に取り組む中で、正しく判断し、責任を持って活動できる学年・学級集団になろう。
- ④互いに協力し、自ら進んで学習を進められる集団になろう。

3 学級経営目標

- ・1学期中に学級委員長が的確な指示、適切な声掛けができるよう適宜アドバイスをする。
- ・2学期では組織として学級が機能するよう、学活内での班会議や点検活動が活発化するよう、学級会の時間を設定していく。
- ・3学期では個々が集団を意識した課題を学級自治アンケートにより見つけ、解決するようにする。学級満足度、所属感が80%以上を目指す。

4 クラス目標(生徒が話し合いで決めたもの)

みんなが それぞれ一生懸命で しあわせで 明るいクラス

5 具体的な目標と取り組み

項 目	目 標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	・見通しをもって計画的に学習することができる。 ・教え合いや学び合いが自然に生じる。	・生活記録や学習計画表などの活用を通して、計画の立て方を指導する。 ・班での活動やペアでの活動など、周囲の人と協力して協働的な活動を増やす。
道徳教育	・自分の考えを持ち、自分の言葉で伝えることができる。 ・互いの意見や考え方が異なることを受容し、認め合うことができる。	・一人で考え取り組む時間と、意見を伝え合う場を設ける。 ・班だけでなく、学級全体でそれぞれの意見をみつめることで、個人の考え方に差があることに気付かせる。また、個の考えがあつていいことを認め、別々の考えをもつ人との共存の意味を考えさせる。
キャリア教育 (進路学習)	・自分の将来を考え、自分で進路を決める。 ・自己理解を深める。	・キャリア学習を通して、将来の生き方を深く考え、本人が納得できる進路選択の支援をする。 ・自己を見つめる時間を設けたり、キャリアパスポートや総合的な学習の時間を用いて自己理解を図る。
生活指導	事件や事故の未然防止に努める。	・生活記録や生活アンケートを活用し、学校内外で起こったことにも気を配ることで、生徒たちの日々の変化に気付けるようにする。
特別活動	・自己有用感と自己肯定感を育む。	・行事、委員会、係活動、当番活動などを通し、クラスや学年で自分自身が役に立っていると実感できる場面を設ける。
保護者との連携	・各家庭と学級の役割を明確にし、多面的な生徒指導をする。	・各家庭と学級の役割を明確にし、多面的な生徒指導をする。